

令和 8 年度市町村等 D X 推進支援事業 企画提案募集に対する質問への回答

令和 8 年 3 月 5 日

No.	質問	回答
1	事業経費の積算書について ひな形等例示はありませんが、見積書と見積明細の当社書式で作成、代表印押印にてご提示することによってよろしいでしょうか。	ご認識のとおりです。
2	(1) D X 全体方針策定に係る伴走型支援の支援対象団体について 支援対象団体数は「県内市町村 4 団体以上」とのことですが、最大でどの程度の団体数の可能性があるかどうか等目途をお持ちでしたら、ご教示いただけますと幸いです。 また、支援対象団体は令和 8 年度の支援希望をだされた団体と理解してよろしいでしょうか。	支援が想定される団体数は、宮城県内 35 市町村のうち、D X 全体方針未策定団体である 11 団体(令和 7 年度中に策定を予定している 3 団体を含む)となります。 支援対象団体は、ご認識のとおり令和 8 年度の支援希望を出した団体となります。 支援対象団体数は、年度当初に実施する市町村の希望調査を踏まえ、また、受注者と協議の上、決定させていただきます。
3	協議会支援 (3 回) の実施時期について (3) 自治体 D X (標準化対応を含む) に係る知見共有 協議会等の支援について、3 回程度を想定とありますが、資料作成等に係る人・作業分担を考慮したいため、実施時期の目安がありましたらご教示ください。	協議会等の支援は令和 8 年 6 月以降を想定しています。具体的な時期は、本事業での市町村等の支援状況及び市町村等からのニーズを踏まえ、受注者と協議の上、決定させていただきます。
4	継続・引継ぎ事項について 11 本業務の引継 文章中に懸案事項及び継続事項と記載があります。本仕様書内で定義された業務以外に本年度からの継続事項がありましたら、教えてください。	本仕様書内で定義された業務以外は想定しておりません。
5	業務委託仕様書 8 業務要件等 (1) D X 全体方針策定に係る伴走型支援 支援対象団体数が 4 団体以上と記載がありますが、4 団体を目安にする認識で良いでしょうか。仮に対象団体が増える場合、どの程度の増加を見込んでおりますでしょうか。	No. 2 と同様です。
6	業務委託仕様書 8 業務要件等 (2) 自治体 D X (標準化対応を含む) に係る個別助言支援 支援団体数の想定をご教示ください。	支援対象となる団体数は、市町村が 35 団体、一部事務組合及び広域連合が 19 団体、地方独立行政法人が 3 団体です。 支援団体数は、上記団体のうち支援を希望する

		<p>団体数のため未定ですが、各支援団体の合計支援回数は、仕様書に記載のとおり、年間で30件程度を想定しています。</p> <p>なお、これまでの本事業の実績として、令和6年度は35件、令和7年度は17件（R8.2.9時点）となっています。</p>
7	<p>業務委託仕様書 8 業務要件等 (3) 自治体DX（標準化対応を含む）に係る知見共有</p> <p>「国の動向、通知及び手順書等の内容を分かりやすくまとめた解説書を作成」とありますが、国や県から発出される市町村向けの通知情報について、内容を県または市町村から共有頂ける認識で良いでしょうか。</p>	<p>ご認識のとおり、国や県から発出する市町村等向けの通知等については、県から受注者へ共有します。</p>
8	<p>業務委託仕様書 8 業務要件等 (4) 他事業等との連携</p> <p>「当該施策に関連する事業者等と十分な連携を行うこと」と記載がありますが、想定される支援内容の例をご教示ください。</p>	<p>仕様書で例示した「市町村のDX人材確保対策事業」の場合、県では、県内市町村において、一緒に働きながらDXを進めることのできるデジタル人材の採用及び派遣を進めており、本事業の実施にあたって県から受託者に助言を求めることがあります（県が策定する採用スキーム、派遣者からの相談内容等）。</p> <p>その他、県が別途進める市町村等のDX推進に関連する施策に関する助言等を想定していますが、詳細は受注者と協議の上、決定させていただきます。</p>
9	<p>質問項目：仕様書「8 業務要件等」-「(1) DX全体方針策定に係る伴走型支援」-「④最終案の提示・推進体制の助言」の実施形態について</p> <p>質問内容：「DX全体方針（最終案）」の作成にあたっては、受注者が一律に案を作成し提示するのではなく、自治体職員様が主体となって検討・作成するプロセスを受注者が伴走支援（助言・ファシリテーション等）する形式は可能でしょうか。あわせて、仕様書において受注者側が主体となって取りまとめることを求めている特段の背景や意図がございましたら、あらかじめお示しいただけますでしょうか。</p>	<p>DX全体方針は市町村の今後の指針となる重要なものであるため、県としても、市町村が主体となって進めるべきものと認識しています。</p> <p>仕様書上、成果物として、「DX全体方針（最終案）」を取りまとめることとしておりますが、そこに至るまでの進め方については、市町村の意向も踏まえながら、受注者の提案も交えて協議の上、決定させていただきます。</p>

10	<p>質問項目：「(2) 自治体DX (標準化対応を含む) に係る個別助言支援」- 「② 標準化対応に関する支援 (例示列挙)」- 「【想定される支援回数等】」の定義について</p> <p>質問内容：支援回数のカウント方法について、1回の会議 (または打合せ) を「1件」とカウントする認識でよろしいでしょうか。それとも、同一の会議内で複数の課題 (トピック) を扱う場合、議題数に応じて複数回とカウントする規定はありますかでしょうか。</p>	<p>ご認識のとおり、同一の会議内で複数の課題 (トピック) を扱う場合であっても、1回の会議 (または打合せ) を「1件」とカウントすることを想定しています。</p>
----	--	--